

2015年9月8日

生徒・卒業生、保護者、ひと塾、相談者、関係者各位

むさしの学園&むさしの高等学院からのお便り

NPO法人 フリースクール **むさしの学園**
埼玉県指定技能連携校 **むさしの高等学院**
電話 048-487-0006
望月 泰宏【携帯：090-1554-1755】

拝啓

秋の長雨とは申しますが、もう少し晴れ間がほしいこの頃ですね。皆様にはご健勝のこととご拝察いたしますが、だんだん気温が下がってきていますのでくれぐれも体調にはご留意ください。

この雨を最も喜んでいるのは、植物のようです。農園の雑草が生き生き！と育っています。先日の失敗を繰り返さないように、農業プロジェクトのメンバーで畑の草取りをがんばっています。

今後ともご指導、ご鞭撻の程を宜しくお願い致します。

敬具

お知らせ & ご報告

① 「10月の親サロン」ご案内

日時 **10月4日(日) 午後2時30分～5時**

会場 **新座ほっとプラザ** (志木駅下車、改札口を出て、左へ向かい、プラザに直行)

むさしの学園、むさしの高等学院生徒の保護者以外の方のご参加も大歓迎です。ぜひ一度お出かけになってください。参加費は無料です。

② 「9月の親サロン」ご報告

9月6日(日)、9月の親サロンが開催されました。参加二回目のお父さんのお話(自分の子どもが学校に行けなくなったとき、親として自分の立ち位置がよくわからない)をきっかけに会話は盛り上がりました。

私は子育てに悩んでいる親御さんたちの悩みを聞く機会がたくさんあります。いつも接するのは「子育て」という言葉に囚われ、もがいている親御さんの姿です。「子育て」という言葉に私は「私の子ども」という「所有格」の強烈な匂いを感じます。子どもは「親御さんの子どもであり、自分の命に代えても守る存在であります」が、同時に「子どもは親とは別個な存在である」ことを強く認める必要があります。皆様のお子様は、自分たちがこの世に誕生させた、かけがいのない子どもですが、自分たちとは全く別個な生き物なのです。親としていくら頑張っても、どうにもできないことがあって然るべき存在でもあるのです。

「自分の」という所有格を捨てた「立ち位置」も必要なのではないのでしょうか。

③ **むさしの高等学院の卒業式**

平成27年度10月生卒業式 9月26日(土) 午前11時～12時

昨年「むさしの高等学院」に入学した10月生の生徒1名が上記のように9月に卒業式を迎えます。一人でも多くの方々にお集まり頂き、卒業生を祝ってあげていただければ嬉しいです。

④ **むさしの学園**

一人ひとりの生き方を大事にした居場所づくりを使命とする「むさしの学園」(平成14年創立)の存在が周知され、相談や入園が多くなっています。ご関心のある方は一度ご来園して、学園の活動をご覧ください。

⑤ **農業プロジェクトの近況**

猛暑が続いたかと思えば、いきなり梅雨のような毎日。なかなか咲かなかった朝顔が、一気に咲き出しました。

ジメジメ蒸し蒸しを最も好む植物。繁殖力の旺盛な雑草たち。イヤな予感がします(笑)

ほんの少しの晴れ間を縫って、農プロメンバーと畑へ…。先月刈り切ったはずの畑は、またもや一面のジャングル！

しかし！前回の教訓を生かし、今回はフル装備（鍬×2本、鋤×1本、鎌×2本、軍手×人数分以上、ゴミ袋×多数、カメラマン×1名・笑）で立ち向かったのです。

だんだん手馴れてきたのか？サクサクと作業も進み、小一時間ですっかり綺麗になりました。

汗びっしょりになった後は、望月学長の差し入れのアイスクリームに歓声が。暑さと疲れには最高のご褒美でした♪



↑根こそぎだっ!!

袋に一杯の雑草→



←やり遂げたぜ★の表情